



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

会報
Weekly Report

【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117
ホームページ <http://www.akishima-rc.org>
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」

第2402回 例会報告 2017年4月20日発行 VOL. 49-36
2017年4月12日(水)例会



司 会 IM統括委員長 本多幸雄様 / 竹下美里様

第一部 15:00

開会点鐘

多摩中グループガバナー補佐 鈴木 義明 様

斉 唱

国歌斉唱 「君 が 代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダーグループ幹事 鍋木 孝和 様

ご来賓紹介

多摩中グループガバナー補佐 鈴木 義明 様

開会挨拶 多摩中グループガバナー補佐 鈴木 義明 様

本年度のテーマ、ジョンF. ジャームRI会長は「人類に奉仕するロータリー」を掲げました。そして大槻哲也ガバナーは、地区運営方針に「奉仕の哲学を実践しよう」と私たちロムタリアンに奉仕の有り方を説いて下さいました。



本年度多摩中グループIMは「ロータリーを知ろう！」をテーマにお二人の方をお迎えして講演を頂きます。本年度の地区強調事項にオリンピック・パラリンピックを支援するとあります。あと3年後に迎えるオリンピック・パラリンピックを東京都民として、また地域奉仕の観点からロータリアンがどの様に迎えるかのヒントを得られればと思ひ、講演をお願い致しました。

また、本年度100周年を迎えたロータリー財団について「ロータリー財団の寄付がどの様な奉仕に使われているかを知ろう」をテーマに皆様と一緒に情報を共有し、今後のクラブ活動のヒントにして頂ければと思ひ企画を致しました。

ロータリーには「入りて学びト出でて奉仕せよ」の教えが有ります。本日は、多摩中グループ会員の皆様と楽しく親睦を深めていただければ幸いです。

ガバナー挨拶

国際ロータリー第2750地区ガバナー 大槻 哲也 様

参加クラブ紹介

多摩中グループ
ガバナー補佐 鈴木 義明 様



歓迎挨拶

ホストクラブ
東京武蔵国分寺ロータリークラブ
会長 赤木 建治 様

第二部 基調講演 / 卓 話

基調講演

ミズノ株式会社社長
第2580地区パストカバナー 水野 正人 様

◇テーマ

「東京2020オリンピック・パラリンピック／ロータリアンの係わり」

【水野正人様のプロフィール】

1943年兵庫県芦屋市生まれ
1966年甲南大学経済学部卒業後、美津濃(現:ミズノ)株式会社入社
1988年ミズノ代表取締役社長就任
2004年藍綬褒章を受章
2006年ミズノ代表取締役会長就任
2007年日本オリンピック委員会副会長就任
2011年東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員CEOに就任、その職に専念するためミズノ代表取締役会長を退任
2013年第125次IOC総会での最終プレゼンテーションで大きな身振り手振りを交えたスピーチを行い、東京オリンピック招致の立役者の1人となった
2014年7月ミズノ株式会社社長に就任

卓 話

玉置 秀樹 様(東京調布むらさきRC)

ロータリー財団 地区財団副委員長
奨学・学友・VTT委員長
地区危機管理委員会委員
地区RLIディスカッションリーダー



ロータリー財団委員会にてグローバル補助金を使用してロータリー奨学生を派遣。

2014-15年からの奨学生派遣数20名(H29年1月現在)は全世界535地区の中で第1位の奨学生派遣数。

委員会活動の一環として現在国内34地区への奨学生派遣方法及び情報などの講演や実務サポートを行っている。

卓 話

2013-2014年度国際ロータリー第2750地区ロータリー奨学生
 兵庫県立こども病院 小児科医師 椎間 優子 様

[母子の健康]及び[疾病予防と治療]

ホストクラブ:7450地区フィラデルフィアRC

2013年6月～2015年5月までアメリカ、フィラデルフィアに留学ペンシルバニア大学医学部大院臨床疫修士

フィラデルフィア小児病院シミュレーションセンター リサーチフェロー

大学院卒業後、兵庫県立こども病院に勤務、小児集中治療分野にて活躍

[予防可能な子どもの死亡を減らす]ために、この分野で世界的権威のあるペンシルバニア大学でスキルを学び、この技術を習得し日本のみならず発展途上国での乳幼児死亡率を減らすために貢献したいと考えています。

【ロータリー奨学生・奨学金事業とは】

1. ロータリー財団の奨学生の歴史

1947年よりロータリーは国際親善奨学生として多国間で親善を主とした奨学生制度を行ってきました。日本でも元奨学生として世界的に活躍されている元国連難民高等弁護官の緒方貞子さん、元宇宙飛行士の山崎直子さんがご活躍されています。他、国連機関を主に世界各地で活躍されています。

4年前より{未来の夢計画}より6つの重点分野に限った奨学生のみを輩出することとなり、以前の親善重視から重点分野の専門分野で長期的に持続可能な人材育成に対して奨学金を拠出し支援する体制に変わりました。

2. ロータリー奨学生の概要

- 奨学生対象者は6つの重点分野に関して研究する者に限られます。芸術や文学、音楽など芸術は対象外となっています。
- 奨学金の期間は、大学院又はそれに相当するレベルの1学年度です。
- 応募期間は毎年7月1日～10月31日となっています。
- 奨学生の募集人数は、年度によって異なりますが、概ね4～5名(他PBGは11名)程ほどとなっています。
- 奨学金の額は一律30,000米ドルとなっています。
- 奨学金の予算はグローバル補助金を利用します。地区DDFより15,000米ドル、WFより15,000米ドルの内訳にて計3万米ドルとなります。基本的にクラブの拠出金はありません。
- ロータリー奨学金事業はロータリー財団委員会内の奨学生友VTT委員会にて取り扱われています。ロータリーでは青少年交換学生、インターアクト、ローターアクト、RYLA、米山奨学生の支援を行っておりますが、こちらは青少年奉仕委員会、米山記念奨学委員会にて取り扱っております。

3. ロータリー奨学生の活躍

ロータリー奨学生として大学院で履修卒業後、ロータリーの掲げる重点分野で実践的な社会活動にて経験を積んでいます。

第2750地区では具体的には日本国大使館、JICA国際開発機吸やUNWOMEN、国内外病院に勤務しています。

将来は国運機関での活躍を目指す方々が多く、自分のキャリアプランの夢の実現に向けて活躍しています。

ロータリーで支援した浄財は長い年月を経て将来を担う世界で貢献する人材のために確実に活かされていきます。



懇親会

18:00

開会挨拶

IM副実行委員長 尾崎 幸信 様



来賓挨拶 国際ロータリー第2750地区
 ガバナーエレクト 猿渡 昌盛 様

乾 杯

国際ロータリー
 第2750地区
 バストガバナー
 新藤 信之 様



◇友情出演◇

ピアノ演奏
 島谷 恵介 様(東京世田谷RC)



新会員紹介

各クラブ会長から
 新会員紹介

左より
 島谷恵介 様
 鈴木義明ガバナー



IM 実行委員会紹介

IM 実行委員長
 金津 昇 様



閉会挨拶

多摩中グループ幹事
 鍋木 孝和 様



チーム報告

○親睦活動出席チーム

※出席報告

会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除
45名	6名	39名	22名/1名
事前メイクアップ		本日の出席率	
3名		62.50%	
※事前メイク 鈴木(圭)会員、大貫会員、西野会員			
※メイクアップ 4月4日 小山(満)会員			
木野会員			訂正 63.41%

※ニコニコボックス発表

※4月4日現在

本日の合計 30,000円
 累計 1,801,136円
 予算達成まで 698,864円